

機能再生・再建科学専攻 生体機能再生・再建学講座

耳鼻咽喉・頭頸部外科学分野

Department of Otolaryngology

臨床だけで満足しない
新たな可能性
アカデミックサイエンスを目指して

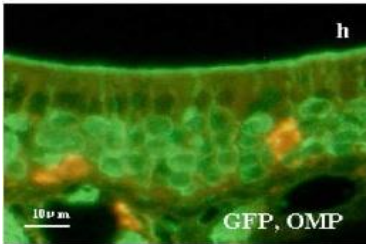


医局長挨拶(耳鼻咽喉・頭頸部外科)

耳鼻咽喉・頭頸部外科の領域には、多くの感覚器が含まれます。聴覚、平衡覚、嗅覚、味覚、視覚など、生活の質を左右する重要な感覚器を扱う診療科です。また、頭頸部は発声や嚥下などの機能も有しており、頭頸部腫瘍の治療を行う上で、配慮が必要です。

これらの諸問題の解決を目指して、岡山大学耳鼻咽喉・頭頸部外科では、耳科学、鼻・アレルギー学、口腔・咽頭・喉頭科学、頭頸部外科学などの研究を行っています。特に、先天性難聴や加齢性難聴、アレルギー性鼻副鼻腔炎などについては、国内で有数の業績を誇っています。また、嗅覚再生(写真: 骨髄細胞由来の嗅細胞)でも注目を集めています。

このような研究を遂行する上で若い力を必要としています。臨床だけではなく研究にも眼を向け、視野を広げることによって、多彩な人生を経験していただきたいと思います。



研究グループの紹介 (一部のみ)

1 中耳炎における炎症性サイトカイン

急性中耳炎、滲出性中耳炎では様々な炎症性サイトカインがその発症と遷延化に関与している。炎症性シグナル伝達物質のノックアウトマウスなどを用いて中耳炎における炎症のメカニズムや治療法について研究を行っている。

2 加齢性難聴と騒音性難聴

難聴の高齢者は、他人とのコミュニケーションが取りにくくなることから生活の活動性が低下し、認知症になるリスクが上昇する。また、イヤホンなどで大音量の音楽を聴くことは、騒音性難聴の原因となる。難聴を改善させるためにマウスを用いた実験などを行っている。

3 ヒトの側頭骨を用いた病理学的検討

病気の原因を探求する上でヒトの病理組織学的研究は重要である。米国ミネソタ大学と共同で2000例を超えるヒト側頭骨病理標本を用いて、内耳、中耳疾患の研究を行っている。

連絡先

岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 機能再生・再建科学専攻 耳鼻咽喉・頭頸部外科学 (教員: 假谷伸)

〒700-8558 岡山市北区鹿田町2-5-1

tel. 086-235-7307 fax. 086-235-7308

E-mail: jibika@cc.okayama-u.ac.jp

URL: <http://www.okayama-u.ac.jp/user/jibika-1/index.html>